



かじわら 英樹

府議会NEWS vol.05

発行 かじわら英樹

〒607-8301 京都市山科区西野山百々町227-56
TEL 075-594-5566 FAX 075-594-5588

梶原英樹

Q 検索

中面特集／山科のみなさんインタビュー

オーレ山科

オーレ京都で

コロナを乗り越える！



かじわら英樹

6月定例会で

質問 提言 要望

Q1

コロナ禍における高齢者の健康課題について

かじわら

- ▶ 3度の緊急事態措置で外出機会が大幅に減少
- ▶ 高齢者の体力と気力が低下し、一気に老化が進む「コロナフレイル」が急増
- ▶ 長期化するコロナ禍が高齢者の健康状況に与える影響や課題、フレイル予防対策をどう進めるか？
- ▶ フレイル健診や保健指導の促進が課題。
後期高齢者向けの健康診断の受診率の向上に向けどう取り組むか？



西脇知事の答弁

人生100年時代を迎え、高齢になっても健康で生き生きと暮らせるためには、バランスのとれた食事により、低栄養となることを防ぐとともに、適度な運動を続けることにより、身体機能の維持・向上を図ることが重要です。

また、高齢者サロンや体操教室、ボランティアなど、地域の様々な活動に参加することは、人とのつながりを通して、高齢者の孤立を防ぎ、心の健康を保つ上でも大切です。

しかし、コロナ禍の影響で、地域の活動が縮小や休止を余儀なくされ、外出や活動の機会が減少したことから、高齢者の健康支援や、地域の活動の継続に向けた支援が課題となっております。

このため京都府では、京都府独自の「介護予防総合プログラム」をベースに、高齢者がご自宅等でも取り組んでいただける健康体操のDVDやリーフレットを、本年2月に作成し、市町村や地域包括支援センターを通じて配布しました。

また、高齢者サロンや体操教室等の活動を、コロナ禍でも安心して継続いただけるよう、活動の場の運営者に対し、今後、保健師等が感染症対策について指導を行う予定です。

後期高齢者に対する健康診査は、心身の虚弱、いわゆるフレイルや生活習慣病を早期に発見し、重症化を予防する上で大変重要なものです。令和2年度の府内の受診率は、コロナ禍の影響で、令和元年度の22.5%から、速報値であります20.9%と減少しております。

京都府では、市町村による後期高齢者への受診勧奨を進めるため、これまでから、京都府後期高齢者医療広域連合や国民健康保険団体連合会とともに、市町村職員を対象とした研修会を実施しております。

この中で、地域の通いの場を活用して健康診査の受診状況の把握や受診勧奨などに取り組む先進地の好事例を紹介しており、今後も健康診査への理解を深めていただくなど、受診率の向上に向けた支援を行ってまいりたいと考えております。

Q2

コロナ禍における運動不足とクリーン活動について

- ▶ コロナ禍で団体でのスポーツイベントの開催が困難
- ▶ 歩いて素敵な景品がもらえるスマホアプリ「ある古都」が2020年11月にスタート
- ▶ 昨年度は舞鶴市、綾部市、亀岡市、宇治田原町で展開されたがその実績はどうか？
- ▶ コロナ禍の慢性的な運動不足解消のため、本年度は新たな仕掛けをどのように行うのか？

答弁 昨年度は、一昨年の421名を大きく上回る786名の方に参加いただきました。参加された多くの方が身体活動量が増加したり、継続してウォーキングに取り組むなど、健康増進に資する行動変容が起こっています。健康無関心層といわれる方々をはじめ、運動不足の方々へのアプローチとして有用であると考えておりますので、今年度は、コロナ禍でも参加しやすい新たな企画内容を検討しています。具体的には、街中のオープンスペースにチェックポイントを設定し、ウォーキングをしてもらうなど、イベント性を高めながら、密な状態を作らない内容とし、さらに参加者の増加を図れるよう、市町村とも協力して事業を実施してまいります。

かじわら

Q3

警察官の死亡に至る労働災害について

かじわら

- ▶ 近年、警察官が交通事故に巻き込まれ命を落とす事象が散見される
- ▶ 府民の安心・安全を体を張って守っている警察官でも、命を落とす事象は絶対にあってはならない
- ▶ 事故処理中や交通取締り現場での労働災害防止のため、ハードとソフトの両面からどのような対策を実施しているのか？
- ▶ 警察官の命に関わる重大事象について、都道府県の垣根を越えて情報を共有し再発防止策とリスクの洗い出しが必要と考えるがどうか？



警察本部長の答弁

交通の事故処理や取締りは、現に車両が行き交う道路上で行われることが多く、従事する警察官自身にも一定の危険が伴います。このため、現場では、ヘルメット、夜光チョッキ等の装備資機材を有効活用することや、状況に応じて警察車両を盾にした上で交通規制を行うなど、従事する警察官の安全を確保する対策を講じています。また、警察署ごとに「受傷事故防止推進リーダー」を指定し、このリーダーが中心となって具体的な事例を題材とした検討会や各種訓練を実施しているほか、現場の形態に応じたマニュアルを策定して、事故の未然防止に向けた訓練に取り組んでいます。警察官の殉職等、警察官に係る重大な事象が発生した時は、警察庁から全国に対し、事案の概要や再発防止策が示され、情報が共有されるようになっています。府警察では、この情報に基づいてリスクの分析と具体的な再発防止策を検討するとともに、これらを速やかに警察署にも伝達し、共有に努めています。

山科のみなさん interview

CAFÉ HATCH 八山幸代さん

コロナの影響でお客さんが減りましたが、テイクアウトにチカラを入れて、いつも来ていたお客様にお弁当を買っていただけるように工夫をしました。
コロナを抑え込むためにも、お客様に喜んでいただけるよう私にできることをやっていきます。

緊急事態宣言期間中はテイクアウトのみ
まん延防止等重点措置中は通常営業

interview
01

鉄板居酒屋 こてっぱん 松岡拓也さん

お客様が来られなくなる不安が募る一方ですが、山科の方々とベクトルを1つにするためにも行政の要請に協力をしています。
休業が明けた後にお客様においしい料理を振る舞うために毎日鉄板をメンテナンスしています。お客様の笑顔の為にも休業中も前向きにがんばります。

緊急事態宣言中、
まん延防止等重点措置中は休業

interview
02

グリム 松尾理沙さん

誹謗、中傷、偏見、差別等でギクシャクした社会に感じことがあります。
地域イベントが中止となり、ご依頼が減りつい下を向きがちになりますが、誕生日ケーキなどを買いたいに来て下さるお客様の為にも感謝の気持ちを込めて笑顔忘れずにお客様の幸せを願い営業をしています。

interview
03

京都のため、
山科のため



ベーカリー オガワ

小川恵美子さん
宮川朋美さん

地元の方をはじめ、通勤、通学される方にもよく利用していただいています。
コロナで小さい子どもから高齢の方まで大きな影響が出ていますが、私たちにできる事は一生懸命心を込めてパンを作り、パンで笑顔になっていたくことしかないとっています。
コロナで大変だけど、引き続きみんなに喜んでもらえるよう心を込めてパンを作っています。

interview
04

少年野球チーム 大宅アトムズ

6年生の大きな大会に向け、子どもたちは一生懸命練習に励んでいましたが、緊急事態措置期間中は小学校のグラウンドが使えないため、やむなく部室。感染対策を実施しながら、少人数で自主練習が可能な場所を地域の方が提供してくださいました。全体での練習などに制限がありました、地域の方々に明るいニュースが届けられるよう子どもたちも頑張っています。結果が伴わなくても、子どもたちの夢や希望に挑戦できる優しい社会に心から感謝をしています。

interview
05

木下組 木下太一さん

建設業にも大きなダメージが出ています。
一時は受注が半減した時期もありました。不安な状況は続いているがコロナでできないではなくコロナの時だからこそできることがあると常に考え、行政の支援策を活用しながら経営を維持しています。コロナで大変な状況ですが生まれ育った山科に恩返しをしたい、山科を活性化させたい思いで仕事をポジティブにやっています！

interview
06

西日本旅客鉄道労働組合

川端準一委員長 宮前裕子さん 北村優幸さん

お客様から「コロナで大変だけがんばってね」、「我々の通勤通学を支えてくれてありがとう」とお声がけをいただくことがあります、嬉しいです。
お客様もコロナ禍で大変であるにも関わらず胸が熱くなる想いです。
減便でお客様から叱られたこともあります、絶対にお客様の命を守るという意気込みで仕事に励んでいます。
公共交通事業者は、換気、消毒だけでなく、つり革、座席、券売機など抗ウイルス剤を使用し対策を徹底しています。これほどまでかと思われるぐらい対策を徹底していることを知っているだけに、必要以上に恐れられている誤解を解きたいと思います。



前原誠司衆議院議員と
小島信太郎京都市会議員とともに
活動しています！



Q4 高速道路における併発事故防止について

かじわら

- ▶高速道路での停車中の事故を防ぐためには三角表示板の表示が重要だと考える
- ▶しかし現在、三角表示板は標準装備ではない。標準装備は発煙筒のみ。
- ▶高速道路を走行する車には三角表示板を標準装備として義務付けるべきと考えるがどうか?
- ▶新規の免許取得時及び免許更新時に高速道路における事故や故障発生時のシミュレーション訓練として、三角表示板の重要性や発煙筒の使用方法を学ぶ訓練や、安全な場所に避難する訓練等に加え、実際の交通事故例等を伝えることも併発事故防止に有効と考えるがどうか?



**梶原英樹
(府民／山科区)**

警察本部長の答弁 ▲ 三角表示板は、高速道路上での故障や事故の際に後続車に故障車等の存在を知らしめるため、車両後方の路上に置くことが、道路交通法で定められています。他方で、一般道路上では、事故等の際ににおける三角表示板の設置は、義務付けられていません。このため、高速道路を走行する車両に限らず、全ての車両を対象とする道路運送車両法では、三角表示板は標準装備となっておりません。しかし、三角表示板は、高速道路での万が一の事故の際には必要となることから、府警察では、関係機関・団体と連携し、高速道路を通行する際の携行について、呼びかけを重ねていきたいと考えています。自動車教習所での講習や更新時講習等では、三角表示板や発炎筒の正しい使

用や、高速道路上で交通事故等に遭った場合の正しい対処方法について指導を行っているほか、事故の通報を110番等で受けた場合は、通報者に対して、安全を確保するための行動を具体的に指示するなどの取組を行っています。また、交通事故に関し、実際の事例を挙げて説明することは、府民にとっても迫真性があり分かりやすいことから、更新時講習を始め、安全運転者管理者等講習、企業講習などで活用しており、引き続き充実させていきたいと考えています。府警察では、今後とも、府民の安全はもちろん、警察官の安全にも配意して、交通の安全と円滑の実現に努めて参ります。



コロナワクチン情報 2021年7月15日現在

京都府 新型コロナワクチン接種情報サイト
<https://www.pref.kyoto.jp/vaccine/index.html>

京都市 新型コロナワクチン接種ポータルサイト
<https://vaccines-kyoto-city.jp/>

副反応 副反応等の専門的な相談 京都新型コロナワクチン相談センター tel **075-414-5490** 受付時間
365日 24時間

事業者向け支援制度の一部紹介 2021年7月15日現在

市 **京都市中小企業等再起支援補助金** 売上高30%減の方も対象に

【上限額】法人・団体: 15万円、個人事業者: 10万円 【補助率】3/4 以内
申請受付期間は令和3年10月29日(金)まで

中小企業、小規模事業者、フリーランスを含む個人事業者（時短要請協力金対象事業者除く）で令和2年12月～令和3年7月の任意のひと月の売上高が30%以上減少している者を対象に感染防止対策や事業継続のために新たに実施する取組等の経費の一部を補助

補助金事務局 tel **0570-003-756** 9時から17時（平日）

国 月次支援金

中小法人等 上限20万円/月	個人事業者等 上限10万円/月
--------------------------	---------------------------

①飲食店の休業・時短営業又は外出自粛等の影響をうけている
②月間売上が2019年または2020年の同じ月と比べて50%以上減少している

コールセンター tel **0120-211-240**

**京都府議会議員
かじわら 英樹 事務所のご案内**
〒607-8301 京都市山科区西野山百々町 227-56
TEL 075-594-5566 FAX 075-594-5588

スタッフから
どんな方もお立ち寄りいただきやすいように、事務所にはキッズスペース、駐車場も完備しております！平日10:00-16:00は事務スタッフも常駐しておりますので、お困りなどございましたら、お気軽にお立ち寄りください！

かじわら 英樹 プロフィール
昭和58年5月6日生まれ
大宅小・大宅中・東稟高 卒業
JR西日本 入社(H14)
・車掌(H15～26年)
・特急サンダーバード等を担当
・輸送指令員(H27～29年)
・安全推進室(H29～30年)
平成31年 京都府議会議員選挙 初当選

府議会や日常の活動など日々更新中！

twitter
梶原英樹
Q 検索

Facebook
梶原英樹
Q 検索

Instagram
梶原英樹
Q 検索

小さい頃はよく近所の方々に面倒を見てもらっていました。私のルーツです。

続けてきた野球から、多くのことを学びました

車掌時代、担当していたサンダーバードの前で